

文部省職業教育課と『産業教育』誌（1）

丸 山 剛 史
尾 高 進

Vocational Education Section in Ministry of Education, Science and Culture and the Journal “Industrial Education”（1）

MARUYAMA Tsuyoshi, ODAKA Susumu

〔1〕

本稿は、1949年に設置され2001年に廃止された文部省（現・文部科学省）初等中等教育局職業教育課が戦後教育史において果たした役割を明らかにするための基礎的検討として、同課編集の『産業教育』誌の誌面構成や記事内容を通史的に検討し、それらの若干の特徴を明らかにするとともに、職業教育課が取り組んだ事業の全体を明らかにすることを目的としている。

田中喜美・海群は、2008年の学習指導要領改定における技術・職業教育の扱いに関し、技術・職業教育を専管する文部省職業教育課の廃止に言及しながら、次のように述べた¹。

「今回の学習指導要領改定は、とりわけ高校職業教育に関わっては、職業教育課の廃止と理科教育及び産業教育審議会（以下、理産審）の実質廃止という状況下において初めてなされたという側面を見過ごしてはならない。それらは、国家機関における技術・職業教育行政を専管する部署と審議会とが消滅したことを意味し、この意義は小さくない。」
「今回の学習指導要領改定における技術・職業教育の特徴を結論的にいえば、その扱いの軽さにあると考える。それは、各学校が編成する教育課程に関する国家による大綱的基準たる学習指導要領を司る文科省の担当部局が、その責任を放棄しているのではないかと疑いたくなるような技術・職業教育の扱いの軽さである。」

田中らは技術・職業教育を専管する部署が文部省内から事実上消滅したことに注目し、技

術・職業教育軽視の傾向は、こうした専管部署の有無と密接に関わっているとみている。

こうした文部省における技術・職業教育を専管する部署は、戦前には実業教育局及び実業学務局が設けられていた。第二次大戦後に技術教育、職業教育といわれる営みは、戦前、実業教育といわれており、こうした実業教育を専管する部署として1897（明治30）年10月に初めて実業教育局が設置された後、翌（98）年10月には廃止され、1900（明治33）年には実業学務局が設置され、1913（大正2）年に廃止、1919（大正8）年に復活し、1942（昭和17）年には再度廃止されるなど、設置と廃止を繰り返した²。

敗戦直後の文部省における機構改革では、上記のような技術・職業教育を専管する部署は設けられなかったが、1949年の文部省設置法にもとづき、初等中等教育局に職業教育課が設置された。同課設置は、CI&Eの助言によるものであるといわれている³。

その後、数度にわたる局課再編においても職業教育課は廃止されることはなかったが、2001年の再編に際して職業教育課は廃止され、技術・職業教育を専管する局課は消滅した。

本稿は、文部省職業教育課の半世紀以上にわたる歴史を総括しようとするものであり、総括のための基礎的作業として職業教育課が月刊で発行してきた『産業教育』誌の記事内容を確認しつつ、職業教育課が取り組んだ事業の全体を把握しようとするものである。

[2]

『産業教育』誌は、職業教育課設置後の1951年から発刊された。発刊の経緯は、創刊号の「発刊の辞」及び「編集後記」に詳しい⁴。あまり知られていない内容も含まれているので、引用しながら紹介する。

発刊の経緯に関しては、辻田力（当時、初等中等教育局長）が「発刊の辞」において、次のように述べている⁵。

「……このたび当局の職業教育課が中心になって月刊雑誌『産業教育』を編集、刊行することになりましたが、この雑誌が中央の情報を地方に伝え、又地方の動きを知る機会ともなり、更に広く産業人並びに学識経験者の卓見に触れることも出来る機会ともなつて、産業教育振興のために大いに貢献するもののあることを信じ、喜びにたえないものであります。何とぞ読者の御協力御支援をお願い致します。」

「発刊の辞」の冒頭では産業教育振興法が国会に提出されたことにふれられており、産審法制定が契機になっていることがわかる。そして、前述のように、1)「中央の情報を地方に伝え」とともに、2)「地方の動きを知」り、3)「産業人」ならびに「学識経験者」の見識にふれるような雑誌として『産業教育』誌の発刊が計画・実行されたという。

また、「編集後記」には『産業教育』誌に継続前誌が存在することが記されている⁶。

「以前当課では『職業教育情報』を刊行して都道府県教育委員会あてに数部ずつ配付し幸に御好評をいただいていたが、何と言っても発行部数が余りにも僅少で御要求にそ

えない悩みがあったので、今度それを発展的に解消し、産業教育法案国会上提を機に本誌の月刊を計画した。本号はその出産第一号である。」

『産業教育』誌に先立ち、『職業教育情報』が刊行されており、これを「発展的に解消し」、『産業教育』誌が刊行されることになったという。ただし、『産業教育』誌の前身にあたる『職業教育情報』誌は国立国会図書館、文部科学省図書館にも所蔵されておらず、未見である。

注

- 1 田中喜美・海群「学習指導要領改定と技術・職業教育」『技術教育研究』第67号、2008年、24-31ページ。
- 2 文部省実業学務局編『実業教育五十年史 正・続』実業教育五十周年記念会、1934、36年、正編：218ページ、続編「実業教育五十年史重要事項年表」8-10ページ。文部省『産業教育七十年史』雇用問題研究会、1956年、120ページ。実業教育局や実業学務局の存在意義に関しては小路行彦『技手の時代』（日本評論社、2014年）も参照されたい。
- 3 国立教育研究所編集・発行『日本近代教育百年史 第10巻 産業教育（2）』、1973年、601ページ。
- 4 『産業教育』誌の内容に関しては、大谷忠・八高隆雄らが創刊号から第45巻までを検討している。大谷・八高「文部省職業教育課編『産業教育』誌の量的分析」『産業教育学研究』第30巻第1号、2000年、64-69ページ。
- 5 辻田力「『産業教育』発刊の辞」『産業教育』創刊号、1951年、2-3ページ。
- 6 「編集後記」同上誌、1951年、50ページ。

『産業教育』誌目次集 (1) : 1951-1953 年

- ・本目次集は、宇都宮大学附属図書館所蔵の『産業教育』誌の内容を確認しながら作成した。同館欠号分に関しては、編者が所蔵機関に出向き、目次及び誌面を確認し作成した。
- ・所蔵機関名を巻号・発行年月右横のカッコ内に記した。
- ・執筆者名右横のカッコ内の数字はページ数を表す。

創刊号：1951年6月1日（宇都宮大学附属図書館）	
「産業教育」発刊の辞……………	辻田 力（2）
教育における産業……………	海後宗臣（4）
産業教育法制定について……………	加藤威夫（12）
アメリカの家庭科教育を視察して……………	山本キク（15）
高等学校商業科学習指導要領解説……………	大埜隆治（22）
▽全国職業・家庭科関係指導主事講習会記録△	
中学校における職業・家庭科教育……………	海後宗臣（30）
中学校における職業・家庭科の学習指導要領について……………	島田喜知治（35）
▽資料△	
職業教育関係指導主事の現況について……………	文部省職業教育課（42）
第1巻第2号：1951年7月1日（宇都宮大学附属図書館）	
職業教育の系譜……………	高師広吉（2）
米国職業教育の印象……………	増田幸一（9）
米国工業教育視察記……………	草ヶ谷圭司（12）
アメリカの家庭科教育を視察して（その二）……………	山本キク（16）
高等学校家庭科指導書について……………	（24）
ホーム・プロジェクトの報告書より	
総合農業の全面的研究……………	栃木県立真岡農業高校（32）
家族関係について……………	栃埼玉県立春日部女子高校（37）
産業教育振興法……………	（45）
第1巻第3号：1951年8月1日（宇都宮大学附属図書館）	
職業教育の系譜……………	高師広吉（2）
学校制度の職業教育的検……………	安藤堯雄（11）
年少労働と職業教育……………	工藤誠爾（16）
産業教育振興法解説（一）……………	杉江 清（21）
靴屋の学校——定時制高校のあり方——……………	長谷川淳（24）
アメリカの家庭科教育を視察して（その三）……………	山本キク（29）
▽資料△	
職業教育関係教員等調査の結果……………	（36）
昭和二十六年度高等学校入学志願者状況調……………	（43）

職業教育課関係通牒……………	（44）
経済動向……………	国民経済研究協会（50）
中央産業教育審議会令……………	（35）
第1巻第4号：1951年9月1日（宇都宮大学附属図書館）	
職業教育の基本問題……………	上原専祿（2）
職業論私案……………	藤本喜八（8）
私の見たイギリスの実業教育……………	岩動道行（15）
産業教育振興法解説（二）……………	杉江 清（20）
農業教育の現状と問題……………	島田喜知治（23）
本県における職業教育の現状……………	新潟県・宮崎県・愛媛県（31）
各地における商業教育の動き……………	全国商業高等学校長協会（42）
職業高等学校の施設並びに設備拡充の緊急性について……………	河島武四郎（45）
経済動向……………	国民経済研究協会（49）
第1巻第5号：1951年10月1日（宇都宮大学附属図書館）	
巻頭言	
職業教育における人間形成……………	森 徳治（3）
アメリカにおける被服教育……………	渡辺ミチ（11）
アメリカの技術者養成所……………	ミヤザキ・ヒロシ（17）
商業教育の現状と問題……………	大埜隆治（23）
本県における職業教育の現状……………	京都府・兵庫県（31）
中学校生徒に対する工業実習実施報告……………	入部彌一（37）
職業・家庭科研究指定校報告……………	山田中学校（42）
▽職業教育課だより……………	（47）
▽高等学校長協会便り……………	（48）
経済動向……………	国民経済研究協会（49）
第1巻第6号：1951年11月1日（宇都宮大学附属図書館）	
巻頭言……………	（2）
農業教育の課題……………	磯辺秀俊（3）
定時制教育と短期産業教育……………	

……………	厚沢留次郎 (11)
北海道総合開発と産業教育振興の現状	
……………	横田弘之 (19)
随筆 母と子の曲……………	氏家壽子 (25)
職業・家庭科指定校報告……………	郡中学校 (30)
職業指導教師の反省と私見……………	平林和夫 (34)
職業青少年の生活……………	中込友美 (37)
職業教育幹部教員養成講座をめぐって	
……………	家庭科班・職業指導班・農業工作班 (41)
▼資料▲ TWI とは何か……………	村上茂利 (42)
法令通牒……………	(47)
経済動向……………	国民経済研究協会 (51)
第1巻第7号：1951年12月1日(宇都宮大学附属図書館)	
巻頭言	
職業教育の好機……………	E・C・カムストック (3)
アメリカの家庭科教育……………	仙波千代 (6)
「アメリカの商業教育について」	
……………	大埜隆治 (28)
農業教育の現状と問題……………	島田喜知治 (14)
産業教育振興法解説(三)……………	杉江 清 (18)
中央・地方産業教育審議会……………	(22)
職域青少年の生活(続き)……………	中込友美 (26)
定時制教育発表会概要	
……………	岐阜県立大垣工業高等学校 (35)
本校における職業・家庭科運営の実際	
……………	小田原市立第二中学校 (38)
中学校職業・家庭科の学習指導要領改訂版の発行に 当って……………	(44)
高等学校の課程について……………	(49)
高等学校長協会便り……………	(12)
今年のスクラップより……………	(32)
経済動向……………	国民経済研究協会 (46)
第2巻第1号：1952年1月1日(宇都宮大学附属図書館)	
巻頭言……………	辻田 力 (2)
職業教育当面の諸問題……………	淡路円次郎 (3)
産業教育の総合計画……………	高師広吉 (12)
私の抱負 中央産業教育審議会委	
……	飯島権蔵 (21) 山本高行 (22) 寺本広作 (23)
	佐藤孝次 (24) 齋藤鉄郎 (25) 桐原葆見 (27)
随筆 わが道を求めて……………	山本キク (29)
中央産業教育審議会だより……………	羽田熊夫 (34)
高等学校長協会だより……………	佐藤孝次 (35)
「アメリカの商業教育について」	
……………	大埜隆治 (39)
工業教育の現状と問題……………	長谷川淳 (58)

スタウト・インステチュートを訪う	
……………	武市春男 (48)
▼資料▼	高等学校課程別生徒数調 (53)
経済動向……………	国民経済研究協会 (44)
第2巻第2号：1952年2月1日(宇都宮大学附属図書館)	
産業教育振興法に期待する……………	城戸幡太郎 (2)
科学技術振興について……………	丹羽周夫 (7)
農業教育の現状と問題(三)……………	島田喜知治 (9)
工業教育の現状と問題(二)……………	長谷川淳 (18)
学校のPR……………	ミヤザキ・ヒロシ (23)
「アメリカの商業教育について」	
……………	大埜隆治 (24)
▽職業、家庭科報告△	
(絵画) るすばん……………	新潟県立中央高等学校 (39)
わが校における産業教育	
……………	新潟県高田中学校 (42)
▼資料▲……………	(30)
職域青少年の生活(二)……………	中込友美 (52)
産業教育審議会だより……………	羽田熊夫 (56)
経済動向……………	国民経済研究協会 (49)
第2巻第3号：1952年3月1日(宇都宮大学附属図書館)	
家庭科教育をどう考えるか	
……………	モード・ウィリアムソン (2)
学校職業指導をささえるもの……………	藤本喜八 (4)
一般職業適性検査と職業興味調査並に両者の一致度に関 する実験的考察……………	畔上久雄 (9)
水産教育雑感……………	檜山義夫 (18)
水産教育の特異性……………	吉川吉男 (20)
商業教育改善に対するNOMAの貴重な示唆	
……………	ミヤザキ・ヒロシ (21)
アメリカの高等学校を訪ねて	
……………	草島惣治郎 (27)
わが校における産業教育(つづき)	
……………	高田中学校 (36)
職域青少年の生活(つづき)……………	中込友美 (40)
職業教育課だより	
林業初級技術者の養成問題について……………	(42)
中学校産業教育関係施設基準について……………	(47)
「家庭科ホームプロジェクトの手引発刊について」	
「型紙の使い方手引発刊について」……………	(48)
産業教育振興に関する昭和二十七年予算並に事業 計画について……………	(50)
産業教育審議会だより……………	羽田熊夫 (49)
▼経済動向▲……………	国民経済研究協会 (54)

第2巻第4号：1952年4月1日（宇都宮大学附属図書館）	
職業教育……………	藤田たき（2）
日本の産業教育……………	森 徳治（6）
産業教育振興法の趣旨と本法に基づく昭和二七年度予算……………	杉江 清（14）
産業教育における技術訓練と科学……………	村上正己（29）
商業教育の新しい動向……………	横川義雄（32）
普通課程高校生の商業科履修状況について……………	賀島一雄（37）
中学校職業家庭科に関する実習中心の現場教育について……………	上田俊雄（40）
農村中学校における職業教育計画樹立上の基本問題……………	川島権平（43）
職業教育の現状とその改善方策をどうするか……………	荒木金一（45）
中央産業教育審議会だより……………	羽田熊夫（50）
経済動向……………	国民経済研究協会（47）
産業化運動……………	ミヤザキ・ヒロシ（54）
第2巻第5号：1952年5月1日（宇都宮大学附属図書館）	
産業文明と教育……………	高師広吉（2）
企業内における教育訓練……………	田中令三（10）
教育と経済 — 教育目標設定のために —……………	横田弘之（17）
産業教育課程の最低基準……………	ミヤザキ・ヒロシ（21）
中学校職業家庭科における特殊な生徒の指導とその効果についての一例……………	甲府市立西中学校（25）
男の子は技術者に、さて女の子は？……………	山本キク（33）
職域青少年の生活（完）……………	中込友美（38）
職業教育課だより	
指定統計としての産業教育調査の構想……………	（42）
中央産業教育審議会だより……………	（47）
▽法令通牒……………	（50）
経済動向……………	国民経済研究協会（53）
第2巻第6号：1952年6月1日（宇都宮大学附属図書館）	
講和後の経済政策の方向……………	佐伯喜一（2）
北海道総合開発と教育計画……………	城戸幡太郎（12）
富山県総合教育計画における産業教育……………	矢口 新（15）
産業教育の総合計画……………	長谷川淳（23）
技能者養成について……………	中村一男（29）

職業家庭科教育はどのように改革されたか……………	岩橋文男（34）
前の丘に行かなかった話……………	氏家寿子（44）
全国商業高等学校長協会主催「検定試験」について……………	山田文雄（49）
1952年全米商業科競技会……………	（51）
職業教育課だより……………	（52）
▽中央産業教育審議会	▽通牒
経済動向……………	国民経済研究協会（54）
第2巻第7号：1952年7月1日（宇都宮大学附属図書館）	
◇教員養成特集◇	
産業教育関係教員養成について（一）……………	糸魚川祐三郎（34）
産業教員制度に対する所見……………	都崎雅之助（2）
高等学校職業科の教員養成問題について……………	玖村敏雄（5）
職業・家庭科指導要領と教員養成……………	後藤定年（10）
アメリカ学校職業論の展開……………	角田一郎（16）
資料 工業教員養成のプログラム……………	長谷川淳（38）
高等学校家庭科教員養成についての再検討……………	山本キク（42）
職業教育課だより	
▽中学校職業・家庭科教員調査について……………	（51）
▽中央産業教育審議会……………	（53）
▽通牒……………	（54）
経済動向……………	国民経済協会（48）
第2巻第8号：1952年8月1日（宇都宮大学附属図書館）	
経済の発達と商業……………	柳川 昇（2）
日本商業教育の課題……………	角田一郎（8）
商魂の確立を望む……………	斎藤新三郎（12）
商業教育の重点……………	磯村名男（13）
商業実践についての私見……………	長谷敬太郎（13）
関西商業教育研究会の歩み……………	中沢米太郎（16）
観光経営の使命と目標について……………	笠原文雄（18）
商業実践について……………	大埜隆治（24）
農村中学校における産業教育のあり方を求めて……………	君津中学校長 茂木福治（30）
（鎖夏漫筆）老教師の独りごと……………	武市春男（37）
商業高等学校長異動……………	（4）
全国商業高等学校長会議……………	（41）
昭和二十七年五月改選新役員氏名……………	（42）
— 職業教育課だより —……………	（48）
▽高等学校職業教育教科書編集要項	
▽職業教育教科書編集委員名簿	

▽地方産業教育審議会の動き

▽通牒

経済動向…………… 国民経済協会 (54)

第2巻第9号: 1952年9月1日 (宇都宮大学附属図書館)

女性の永続と家庭…………… 氏家寿子 (2)

育児教育 (家庭と育児篇) …… 平井信義 (7)

農村婦人の家庭生活とその改善

…………… 山本松代 (18)

婦人の職業教育…………… 大羽綾子 (21)

女子 工大生 生活…………… 石引良枝 (25)

家庭クラブ…………… 山本キク (28)

高等学校の家庭科教育…………… 福宿光雄 (36)

随感二題…………… 松本喜美子 (42)

▽職業教育課だより

「産業教育振興法の一部を改正する法律」について

…………… (45)

通牒…………… 49)

中央産業教育審議会だより…………… (48)

高等学校産業教育研究指定校…………… (50)

経済動向…………… 国民経済協会 (54)

第2巻第10号: 1952年10月1日 (宇都宮大学附属図書館)

中学校における産業教育振興の意義とそのねらい

…………… 野口 彰 (23)

中学校の職・家をめぐる現場の課題

…………… 猪股製治郎 (26)

中学校の職・家をめぐる諸問題

…………… 見満亀野 (31)

学校工場の経営…………… 板橋利邦 (35)

本校の職業指導と諸問題…………… 秋吉豊喜 (41)

座談会 普通教育における職業教育——上原専禄先生を囲んで—— …… (2)

中学校職業・家庭科教員養成の問題点

…………… 古川清八 (43)

職業的啓発経験の再検討…………… 森 光雄 (45)

▼職業教育課だより

中学校職業指導実施状況調査について…………… (49)

経済動向…………… 国民経済協会 (54)

第2巻第11号: 1952年11月1日 (宇都宮大学附属図書館)

日本農業の将来と農業政策…………… 小倉武一 (2)

総合農学の構想についての私見…………… 佐々木喬 (9)

米国における農業教員の養成を視察して

…………… 武田憲治 (15)

高等学校における総合農業教育…………… 山田光之助 (26)

高等学校農業科の学習指導要領改訂版の発行に当って

…………… 島田喜知治 (34)

定時制農業…………… 尾方富秋 (38)

青年学級における農業教育…………… 稲垣忠相 (42)

職業教育課だより

中央産業教育審議会だより…………… (47)

高等学校農業に関する課程の課程数…………… (48)

▼経済動向…………… 国民経済研究協会 (54)

第2巻第12号: 1952年12月1日 (宇都宮大学附属図書館)

中学校における職業・家庭科及び職業指導の現状と問題

…………… (2)

北海道・横田弘之…………… (2)

山形県・阿相孫八…………… (8)

兵庫県・三村清八…………… (15)

徳島県・箕浦勝市…………… (17)

福岡県・梅田フミ…………… (24)

育児教育 —— 職業と育児篇 ——

…………… 平井信義 (31)

短期大学と産業教育…………… 村越義雄 (38)

昭和二十七年職業教育幹部教員養成講座に出席して

…………… 原田光子 (44)

昭和二十七年全国職業指導幹部養成講座報告

…………… 久野善夫 (48)

全国工業高校長協会 昭和二十七年総会情况報告

…………… 河島武二郎 (52)

▼職業教育課だより…………… (55)

第3巻第1号: 1953年1月1日 (筑波大学附属図書館)

昭和二十七年を顧みて…………… 田中義男 (2)

産業教育以前にあるもの…………… 伊藤 昇 (4)

ひとつの産業教育論…………… 金久保通雄 (7)

産業教育の振興に寄す

農業教育を想う…………… 鶴田 熙 (13)

職業・家庭科に対する期待…………… 加藤駿二 (15)

山形県の産業開発と工業教育…………… 渡辺英也 (17)

学制改革後の高校商業教育の歩み…………… 生田英一 (21)

水産業と水産教育に対する私見…………… 飛鳥貫治 (22)

明るい家庭…………… 酒井桃香 (24)

オランダの職業教育——ヘーグよりの便り——

…………… 桐原傑見 (11)

本校が実施する協同組合運営と農業教育

…………… 宮本 博 (27)

学校植林の現状と問題…………… 斎藤 功 (35)

産業教育研究指定校の目的と運営

…………… 厚沢留次郎 (40)

産業教育総合計画樹立の方法とその資料

…………… 安岡健次郎 (46)

▼職業教育課だより	(52)
経済動向	国民経済研究協会 (54)

第3巻第2号：1953年2月1日（筑波大学附属図書館）	
教育はなにに奉仕すべきなのか	勝田守一 (2)
日本農業教育の将来	厚沢留次郎 (8)
高等学校家庭課程について	山本キク (20)
農業教育の展望	森川 進 (25)
商業科目実施状況調査について	大埜隆治 (32)
職業教育五ヶ年を反省して	川島権平 (34)
農村家庭科教育	安川三郎 (36)
農村向調理室及び被服室	
岩瀬むめの・木村愛子 (40)	
ワークショップ便り 商業班・農業班・職業家庭科班	
(43)	
水産実習船第一号の船出によせて	(48)
▽職業教育課だより	(50)
経済動向	国民経済研究協会 (53)

第3巻第3号：1953年3月1日（筑波大学附属図書館）	
低度実業教育振興時代	細谷俊夫 (2)
一般教育と職業教育	草谷晴夫 (6)
アメリカにおける商業教育の発展	
マーズダン・シャーマン (13)	
富山県産業教育審議会答申書	(21)
随筆 雲の往来	山本キク (18)
職業・家庭科と教師	橋本一雄 (26)
躍進する産業教育予算	羽田熊夫 (28)
職業教育課昭和二十七年度の回顧	河上邦治 (31)
中学校職業・家庭科教員の実態	島田喜知治 (38)
▽職業教育課だより	(44)
バックナンバー	(53)
経済動向	(50)

第3巻第4号：1953年4月1日（筑波大学附属図書館）	
昭和二十八年度の課題	田中義男 (1)
産業教育振興法による内地留学生の感想	
内地留学生生活一年を顧みて	上田玄之八 (2)
内地留学生という名の教師	木下重一 (6)
私の感想	花島次郎 (9)
一ヵ年の研修を終えて	青山田鶴子 (12)
お茶の水女子大被服工作研究	
内地留学生一同 (13)	
中学校職業教育の指標	塩見淳一 (14)
消費者教育論	尾崎 朔 (17)
高等学校普通課程における商業科のあり方	
鶴飼 正 (28)	

インフレと公債の話	岩井良太郎 (36)
中学校・高等学校の食物指導	香川 綾 (41)
職業教育課だより	
○通牒	(44)
中学校・高等学校職業指導の手引（実践編）発刊について	(50)
◎経済動向	(52)

第3巻第5号：1953年5月1日（筑波大学附属図書館）	
学校における産業教育	松縄信太 (1)
中村建城 (7)	
工業教育の目標	清家 正 (14)
教育における生産性の問題	横田弘之 (18)
北海道における産業教育の現状とその振興策	
牧野徹夫 (21)	
ユニットキッチンと近代技術の一方	
山本キク (26)	
高等学校家庭科施設基準について	(31)
安房第一高等学校平群分校をみて	杉江 清 (35)
新規中学校・高等学校卒業者の就職の現状と見通し	
酒井圭二 (39)	
随筆	
ことば三題	大埜隆治 (11)
お茶と狸	長谷川淳 (24)
達磨と蛙	厚沢留次郎 (47)
職業教育課だより	
○産業教育振興法施行令一部を改正する政令について	(50)
○第四回全日本学校植林コンクールの実施について	(51)
○中学校産業教育施設・設備の地域別、学級別現況	(53)
経済動向	(43)

第3巻第6号：1953年6月1日（筑波大学附属図書館）	
工業教育と教員養成	成瀬政男 (2)
連続長期機械工作実習が生徒の知能に及ぼす影響について	臼井太一郎 (13)
船員教育と帆船訓練	関谷健哉 (18)
中学校における飼育学習の実際	伊古田昇二 (24)
わが校の職業家庭科経営の歩み	霜島 栄 (29)
随筆 農業の用語	島田喜知治 (36)
職業教育計画の構想	吉川英男 (51)
▼職業教育課だより	(41)
経済動向	(48)

第3巻第7号：1953年7月1日（筑波大学附属図書館）	
-----------------------------	--

近代教育の中核をなすもの…………… 鯨坂二夫 (2)

働く青年の教育——産業教育の主要部面——

…………… 桐原葆見 (7)

職業・家庭科のあり方について——〇の基本的視点——

…………… 宮原誠一 (14)

産業教育計画と教育人口——特にその方法論の問題——

…………… 馬場四郎 (24)

日本の教育についての観察

…………… マーズダン・シャーマン (28)

中学校職業・家庭科教科書評価基準 …… 古屋 清 (35)

本県における短期技能教育の実施状況

…………… 鎌田友之 (38)

全国工業高等学校長協会総会…………… (43)

▼職業教育課だより

【中央産業教育審議会だより】…………… (47)

随筆 去年の風鈴…………… (51)

経済動向 (第二三回) …… (52)

第3巻第8号：1953年8月1日 (筑波大学附属図書館)

近代資本主義の産業教育政策…………… 角田一郎 (2)

日本経済の自立と家庭科の任務…………… 松平友子 (21)

両陛下本校御視察に御先導申上げて

…… 千葉県立安房水産高等学校長 佐々木衛 (19)

宮崎県野尻村における乳児の身体発育をめぐるいろいろの問題…………… 岡上ナツ子 (27)

研究指定校に対する地域社会の協力… 落合 正 (37)

本校職業指導の運営計画について… 内村力夫 (43)

「村を興す教育」…………… 三村清八 (46)

北九州水害 視察雑記…………… 河上邦治 (48)

▽なぐさめあり往路帰路…………… 氏家寿子 (37)

▽首にかけた石うすの話…………… 糸川川祐三郎 (25)

漫筆…………… 松縄信太 (40)

思うままを…………… 中村建城 (45)

○経済動向 (第24回)…………… (54)

第3巻第9号：1953年9月1日 (筑波大学附属図書館)

産業教育の内容と方法…………… 桐原葆見 (1)

産業教育に関する一つの構想…………… 藤林敬三 (19)

日本産業の将来と産業教育…………… 水野武夫 (24)

現場教師と職業・家庭科…………… 福井照重 (31)

ネルソンさん、フリクランドさん …… ミヤザキ・ヒロシ (38)

生産と取組む中学生「ひのぼりの子」より (1)

…………… (42)

▲建議…………… (46)

□ある章匠…………… 安岡健次郎 (48)

全国高校長協会農業部会総会…………… (49)

経済動向…………… (53)

第3巻第10号：1953年10月1日 (筑波大学附属図書館)

○挨拶…………… 杉江 清 (2)

○所感…………… 浦谷吉雄 (2)

職業教育の在り方…………… 近藤貞次 (3)

興味と職業…………… 手塚六郎 (8)

日本経済の三つの弱点…………… 岩井良太郎 (12)

農山村の振興と林業の改良普及…………… 蓑田 茂 (15)

高校職業関係教科と数学…………… 島田 茂 (19)

昭和廿八年度産業教育指導者養成講座の感想

職業指導部会…………… 赤沢 昇 (24)

南雲正策 (29) 篠原俊雄 (30)

職業・家庭科部会…………… 佐々木盛三郎 (32)

田中トマ (37)

家庭科部会…………… 道 幸枝 (39)

太田道子 (41)

清楚な講習生…………… 伊藤祐時 (43)

昭和26年度学校卒業者の卒業後の状況 …… (53)

昭和28年度産業教育研究指定校一覧 …… (48)

中央産業教育審議会中学校産業教育専門部会委員名簿

…………… (52)

○経済動向 (第26回)…………… (45)

第3巻第11号：1953年10月1日 (筑波大学附属図書館)

産業教育振興の要諦 …… 清水勤二 (2)

アメリカにおける農村生活の実態…………… 小林善蔵 (7)

オーストラリアの職業教育と職業訓練

…………… 村中兼松 (10)

教育随想 平和への悲願について…………… 池内 弘 (17)

デンバーとカムストックさん

…………… ミヤザキヒロシ (19)

生徒用職業調査の方法…………… 佐柳 武 (25)

卒業後の自営者指導の一例…………… 尾方富秋 (34)

振興法ばかり…………… 羽田熊夫 (37)

生産と取り組む中学生 (二) …… (39)

▼職業教育課だより

▽高等学校分校における産業教育施設及び

設備調査の結果について…………… (46)

○経済動向 (第27回)…………… (42)

第3巻第12号：1953年12月1日 (筑波大学附属図書館)

農業教育に望む…………… 武田憲治 (2)

定時制教育の実態…………… 橋本 勲 (13)

家政学を学んで…………… 宇川和子 (20)

産業教育の諸問題…………… 塚原嘉平治 (25)

農村地域における職業指導の重要性 …… 荻田 初 (32)

学校の船……………	元田 茂 (38)	職業教育課だより……………	(46)
高等学校家庭科教育の使命……………	小山田春江 (41)	▲高等学校普通課程における職業関係科目の履修状況について……………	(46)
昭和28年度産業教育指導者養成講座		▲第四回全日本学校植林コンクール成績表……………	(31)
受講者の感想……………	古賀広次 (45)	▲中央産業教育審議会委員名簿……………	(37)

(まるやま つよし 本学非常勤講師)
(おだか すすむ 本学准教授)